

つながりサポート相談支援事業【香川県高松市】

地域の実情と課題

新型コロナウイルス感染症の問題が長引く中で、本市においては、男女共同参画センターの「こころの相談」窓口での相談延べ件数は、横ばい状態であるものの、1人当たりの相談件数が増加傾向にある。その傾向は、他の女性相談窓口においてもみられるもので、1人の女性が様々な悩みや不安を抱えていることが要因の1つと考えられることから、女性たちが社会的孤立に陥らないよう、それぞれに寄り添った相談体制の構築が必要となっている。

事業の特徴

高松市男女共同参画センターで実施しているグループ相談事業の拡充を行う。対象者を様々な悩みや不安を抱える女性とし、専門のカウンセラーを配置したグループ相談を実施するとともに、市で実施している相談窓口や社会福祉協議会などを通じて、事業の周知やそれと合わせて生理用品の提供を行う。また、適切な相談窓口につなぐなどきめ細かな寄り添った相談支援を実施する。

事業の効果

グループ相談に専門家を配置することで、相談してみよと思うきっかけとなり、潜在化している人が表面化し、様々な不安や悩みによって孤独・孤立を抱える女性が、社会との絆・つながりを回復することが期待できる。また、いわゆる「生理の貧困」対策として、相談事業の一環として行う生理用品の提供をきっかけに、きめ細かい寄り添った支援につなげていくことが期待できる。

目的・目標

(目的)

様々な不安や悩みによって孤独・孤立を抱える女性が、社会との絆・つながりを回復できるようにするためのグループ相談(居場所づくり)を実施するとともに、それぞれの悩みに寄り添った相談支援を実施する。

(目標)

【グループ相談】※臨床心理士配置

1回あたり20人程度のグループ相談を、月3回程度実施

【個別相談】

臨床心理士による個別相談を、グループ相談後に実施。

1回50分程度 3人まで

【生理用品の提供】

男女共同参画センターを始め、女性相談窓口、社会福祉協議会、子ども食堂、市内公立小中学校、高校、大学において、生理用品にお困りの方に相談事業の周知とともに用品を提供する。

今後の課題

様々な悩みを抱えた女性のため、より参加しやすい時間の設定や、周知方法を検討する必要がある。

事業の概要

様々な不安を抱える女性のための相談事業等の実施

【つながりタイム(グループ相談)】

コロナ禍で様々な不安や悩みを抱える女性のためのグループ相談を実施する。月3回程度実施し、託児も備える。臨床心理士がファシリテーターとなり専門的な悩みにも対応した。(参加者数:67名)

【個別相談】

グループ相談後、個別に相談したい人のために、1回50分程度の個別相談を実施した(相談件数:26件)

【生理用品の提供】

男女共同参画センターを始め、女性相談窓口、社会福祉協議会、子ども食堂、市内公立小中学校、高校、大学において、生理用品にお困りの方に相談事業の周知とともに用品を提供した。

つながりサポート相談支援事業

【イメージ図】

